

ンター]

第154回研究会 令和3年10月30日(土)

統一テーマ:『自由論題:主として「経済安全保障」、「軍事技術と法」を視点として』
講演1 佐藤正久氏(参議院議員)「安全保障上の諸課題~防衛法学会へ期待すること~」
講演2 櫻林美佐氏(ジャーナリスト)「防衛生産・技術基盤と経済安全保障」
報告1 安保克也氏(福山市立大学)「技術やデータの流出防止に関する一考察~国家安全保障の視点から~」、報告2 陣内徹之助氏(陸上自衛隊)「サイバー空間における紛争への国際法の適用~対抗措置による法的対応要領~」【於TKP神田ビジネスセンター】

第155回研究会 令和4年5月28日(土)

統一テーマ:「新軍事技術と国際法」
基調講演 佐藤庫八氏(千葉科学大学教授)「自衛隊の行動・運用にかかる検討課題」
報告1 岩本誠吾氏(京都産業大学客員教授)「AI自律兵器規制の方向性~倫理規範から法規範へ、人道法から軍縮法へ」、報告2 橋本葵氏(外国法事務弁護士・渥美坂井法律事務所シニアパートナー)「米宇宙軍の戦略に見る近未来宇宙戦とその国際法的検討」、報告3 真山全氏(大阪学院大学教授)「宇宙空間核爆発による電磁波攻撃とジュネーブ諸条約第1追加議定書~作戦ドメイン超越型行動の評価」【於TKP市ヶ谷カンファレンスセンター】

第156回研究会「憲法学会・防衛法学会共催シンポジウム」令和5年6月17日(土)

テーマ:「日本国憲法と安全保障法~いま日本が直面する諸問題の解決に何が必要か」
基調講演1 兼原信克氏(同志社大学特別客員教授)「憲法と日本の安全保障」、基調講演2 田村重信氏(日本国際問題研究所客員研究員)「平成の防衛政策・法制の変遷と憲法改正」、発表1 池田実氏(日本大学法学部教授)「安全保障をめぐる憲法審査会の動向」、発表2 齋藤洋氏(東洋大学法学部教授)「武力紛争と人権~戦場における人権と適用法に関する問題~」、発表3 下山憲二氏(海上保安大学校海上警察学講座教授)「武力攻撃事態等における海上法執行機関の法的地位と課題」、発表4 永野秀雄氏(法政大学人間環境学部教授)「能動的サイバー防御とはなにか~その法的フレームワークと実施主体に関する議論~」【於日本大学法学部1011講堂】

第157回研究会「令和5年度防衛法学会秋季研究大会」令和5年10月21日(土)

統一テーマ「軍事司法制度の検討-自衛隊に必要な制度とは-」
基調講演 佐藤庫八氏(千葉科学大学)「旧陸軍刑法と自衛隊罰則規定との比較」、報告1 諏訪健太郎氏(陸上幕僚監部法務官付)「米国防軍事司法制度の概要」、報告2 佐藤克枝氏(ノースアジア大学)「警務隊の捜査権と警察との関係」、報告3 田中 誠氏(防衛大学校)「防衛出動時における戦争犯罪捜査の課題-戦争犯罪の保護法益から見た刑事実体法の欠缺-」【於お茶の水女子大学共通講義棟2号館102教室】

第158回研究会「令和6年度防衛法学会春季研究大会」令和6年6月8日(土)

統一テーマ「我が国における軍事司法制度の在り方-国際法と国内法の観点から-」
発表1 久保田隆氏(信州大学)「国内法に基づく中核犯罪の訴追・処罰-ドイツ『国際刑法典』を素材として-」、発表2 瀧本京太郎氏(防衛大学校)「自衛隊員に対する罰則規定の拡充について」、発表3 永福誠也氏(防衛研究所)「国際刑事裁判所規程中の処罰に関する特則-上官命令と上官責任に関する規定について-」、発表4 林浩一氏(防衛研究所)「戦争犯罪の処罰に係る日本の法制の現状と今後の課題についての一考察」【於東洋大学白山キャンパス6号館2階6211教室】

既刊号内容紹介

◆下記は『防衛法研究』創刊号(1977年)からの各巻の目次を元に修正したものである。

『防衛法研究』創刊号(1977年)

Table with 2 columns: Article Title and Author. Includes sections like 憲法第九条の思い出, 憲法第九条と自衛隊, 日本国憲法の戦争放棄条項成立の経緯, etc.

『防衛法研究』第2号(1978年)

Table with 2 columns: Article Title and Author. Includes sections like 防衛法研究第二号の発刊に当たりて, 自衛隊裁判と統治行為, etc.

△資料 第二審判決要旨

◎ 自衛隊裁判における「統治行為論」考……………横手 逸男

第二部 論 説

◎ 国防会議について……………久保 卓也

◎ 第二次大戦における主要国の民間防衛……………山田 康夫

◎ 領海侵犯について……………安田 寛

◎ 命令と服従……………長谷川千勝

◎ アメリカの戦争権限法と若干の諸問題……………宮脇 岑生

◎ 防衛法研究の課題……………西 修

△資料 防衛二法の改正について

△資料 陸上幕僚監部の改編について

△資料 方面総監部の改編について

『防衛法研究』第3号(1979年)

巻頭言 シベリアン・コントロール 特集号に題して……………大平 善梧

第一部 (特集) シベリアン・コントロール

座談会/草創期におけるシベリアン・コントロール

……………増原 恵吉・加藤 陽三・麻生 茂・(司会) 宮崎 弘毅

◎ シベリアン・コントロールと政治の責任……………白川 元春

◎ 防衛二法と文民統制について……………宮崎 弘毅

◎ 大東亜戦争前の日本の政軍関係……………吉原 恒雄

◎ 西ドイツの政軍関係……………山田 康夫

◎ 西ドイツにおける内面指導からみたシベリアン・コントロール……………小林 宏晨

◎ フランスの国防……………柏木 明

◎ 政軍関係に関するアメリカの憲法構造……………西 修

◎ シベリアン・コントロール関係文献要目……………宮脇 岑生

第二部 論 説

◎ 国会の防衛力論争と憲法問題……………奥原 唯弘

◎ 自警権に関する一考察……………安田 寛

◎ 海底軍事問題と国際法……………山口 開治

『防衛法研究』第4号(1980年)「特集 危機管理と法」

巻頭言 危機管理は総合的であれ……………大平 善梧

◎ 緊急性理論の意味と系譜……………小林 昭三

◎ 危機管理と自衛隊……………安田 寛

◎ 危機管理と法体制の整備……………西 修

◎ 有事法令の諸問題を考える……………宮崎 弘毅

◎ 防衛出動時における「自衛隊による公共の秩序の維持のための行動」……………角田 一郎

付論/奇襲対処に関する現行法制……………角田 一郎

◎ 危機の情報管理……………原田 統吉

◎ 対談/国家機密保護の問題点……………植松 正・奥原 唯弘

◎ 社会主義諸国における緊急事態法制……………山田 康夫

△資料 ドイツ民主共和国の国防に関する法律……………山田 康夫

◎ アメリカの危機における大統領と議会……………宮脇 岑生

◎ 市民防衛……………福富 繁

◎ 国際紛争解決手段と危機管理……………高井 晉

◎ ルソーのミリタリズム……………服部 克己

『防衛法研究』第5号(1981年)「特集 海上自衛隊をめぐる法的諸問題」

巻頭言 日本と戦時国際法……………大平 善梧

第一部 (特集) 海上自衛隊をめぐる法的諸問題

◎ 憲法九条と日本の交戦権……………大平 善梧

◎ 国際海峡および領海における船舶の航行権について(シンポジウム)

……………柘山 葵司・布施 勉・大平 善梧・高井 晉・(司会) 奥原 敏雄

◎ ソ連事故原潜の我が国領海通航と無害通行権……………奥原 敏雄

◎ 「核の持ち込み」と無害通行権……………高井 晉

◎ 海上自衛隊における法制上の諸問題について……………大賀 良平

◎ 自衛隊法海上警備行動規定について……………宮崎 弘毅

第二部 憲法と徴兵制

◎ 徴兵制について……………田上 穰治

◎ 世界各国憲法にみる兵役規定……………西 修

第三部 論 説

◎ 日本国憲法と軍備の撤廃……………セオドア・マクネリー・(訳) 安田 寛

◎ アメリカの危機における政策決定……………宮脇 岑生

◎ 自衛隊法第一〇三条による物資の取用等の実用性確保についての法的考察……………角田 一郎

◎ 軍隊の概念と自衛隊……………下田 耕士

◎ ヘーゲルのミリタリズム……………服部 克己

『防衛法研究』第6号(1982年)「特集 陸上自衛隊をめぐる法的諸問題」

巻頭言 ………………大平 善梧

第一部 陸上自衛隊をめぐる法的諸問題

◎ 陸上自衛隊の法制上の問題点の一端……………永野 茂門

◎ 陸上自衛隊の制度及び関連法令……………宮崎 弘毅

◎ 防衛作用法についての二問題……………角田 一郎

◎ 駐屯地警衛勤務について……………安田 寛

◎ 沖縄・自衛隊をめぐる法的諸問題……………下田 耕士

第二部 論 説

◎ 防衛費の経済学的考察……………石沢芳次郎

◎ シベリアン・コントロールと国防会議……………西 修

◎ 自衛隊訴訟の争点……………下田 耕士

◎ アメリカにおける対外軍事コミットメントの法的諸問題……………宮脇 岑生

◎ 中国陸軍の軍事組織と指揮体系……………川島 弘三

◎ カントの平和思想とその崩壊……………服部 克己

参考資料編

△資料 警察予備隊から陸上自衛隊に至る主要法令の歩み

△資料 各国国防制度一覽

『防衛法研究』第7号(1983年)「特集 航空自衛隊をめぐる法的諸問題」

巻頭言 大平 善梧

第一部 航空自衛隊をめぐる法的諸問題

◎ ミグ二五事件の教訓(シンポジウム)
.....丸山 昂・竹田 五郎・大賀 良平・近藤 靖

◎ 航空自衛隊における有罪法上の問題点.....竹田 五郎

◎ 領空侵犯に対する措置.....安田 寛

◎ 軍用機の領空侵犯.....城戸 正彦

◎ 空戦と武力紛争国際法.....足立 純夫

◎ 自衛隊法領空侵犯措置規定について.....宮崎 弘毅

◎ 戦闘機機縦者をめぐる法的諸問題.....松本 健一

第二部 論 説

◎ 平和主義と各国憲法.....西 修

◎ アメリカの軍事要員派遣をめぐる諸問題
-最近のエルサルバドルへの援助問題を中心に-.....宮脇 岑生

◎ 国連憲章上の自衛隊.....高井 晋

◎ 近代国家のミリタリズムの歴史的位 置.....服部 克己

◎ 西ドイツ防衛受託者法(新法)について.....山田 康夫

『防衛法研究』第8号(1984年)「特集 自衛隊の隊員の服務」

巻頭言 大平 善梧

第一部 自衛隊の隊員の服務

◎ 自衛官の身分・服務について.....鈴木 敏通

◎ 自衛隊法における服務 -国会公務員法との比較考察-.....山田 康夫

◎ 憲法と自衛隊法の罰則.....安田 寛

◎ 軍事規律の比較的考察.....足立 純夫

◎ 隊員の服務 -隊員の表現の自由と制約-.....三木 秀雄

第二部 論 説

◎ アメリカのレバノン派兵をめぐる諸問題
-「レバノン駐留多国籍軍に関する法律」を中心として.....宮脇 岑生

◎ 国連海洋法条約と地理的不利国.....高井 晋

◎ ソ連の平和共存政策と中立.....小林 宏晨

◎ 軍律法廷 -第二遣支艦隊の場合を中心として.....北 博昭

◎ 一八一三年におけるフィヒテの解放戦争の哲学.....服部 克己

『防衛法研究』第9号(1985年)「特集 国防中央機構」

巻頭言 大平 善梧

第一部(特集)国防中央機構

◎ 防衛庁中央機構の問題点.....宮崎 弘毅

◎ 国防会議設置の経緯.....麻生 茂

◎ 行政改革に伴う防衛庁設置法等の改正について.....編集部

◎ アメリカの国防中央機構.....西 修

◎ イギリス国防機構の理論と実際.....安田 寛

◎ 中国人民解放軍の中央機構.....川島 弘三

第二部 論 説

◎ アメリカにおける政治的目的の軍事力行使とワインバーガードクトリン.....宮脇 岑生

◎ 抑止戦略をめぐる米国と西欧諸国の認識.....小林 宏晨

◎ 我が国の武器輸出禁止製作.....山田 康夫

◎ 戦争と戦争法.....高井 晋

◎ 支那方面艦隊の場合を主とする軍律について.....北 博昭

◎ フィヒテの政治哲学における戦争と平和及び国家の理論的問題性.....服部 克己

『防衛法研究』第10号(1986年)「特集 自衛隊をめぐる諸問題」

巻頭言 大平 善梧

第一部(特集)自衛隊をめぐる諸問題

◎ 靖国神社の公式参拝について.....林 修三

◎ 無題.....田上 穰治

◎ 「中期防衛力整備計画」と今後の課題.....大賀 良平

◎ 防衛二法における問題点について.....宮崎 弘毅

◎ 防衛出動について.....安田 寛

◎ 防衛大学の現況.....土田 国保

◎ 婦人自衛官制度について.....前田 米子

◎ 国家の存立と秘密保護法制.....吉原 恒雄

◎ 文民条項の成立経緯と意味.....西 修

第二部 論 説

◎ 軍事司法制度.....山田 康夫

◎ 米国統合参謀本部機構の改革をめぐる諸問題

◎ 武力紛争と第三国.....高井 晋

◎ 国際テロリズムと国際法.....小林 宏晨

◎ 指紋押印に関する一考察.....奥田剣志郎

△資料 スウェーデンの領境侵犯措置等に関する命令.....麻生 茂

『防衛法研究』第11号(1987年)「日米防衛協力」

巻頭言 大平 善梧

第一部(特集)日米防衛協力

◎ 安全保障条約の周辺.....安田 寛

◎ 日米防衛協力体制の法的諸問題.....浜谷 英博

◎ 日米防衛協力の現状.....吉原 恒雄

◎ 日米共同訓練の現状と諸問題.....三木 秀雄

◎ レーガン政権下の戦争権限法.....西 修

第二部 論 説

◎ 安全保障会議設置法の制定.....石黒 武夫

◎ 欧州安全保障協力会議と信頼、安全醸成措置について.....山田 康夫

◎ 「良心を理由とする兵役忌避権」は「基本的人権」か.....小林 宏晨

◎ 交戦法規と武力紛争.....高井 晋

◎ 現行憲法下における平和主義の意義……………奥田 劍志郎

『防衛法研究』第12号(1988年)「特集 ソ連問題」

巻頭言……………大平 善梧

第一部(特集)ソ連問題

◎ ソ連軍事力のイデオロギー的側面……………小林 宏晨

◎ ソ連における党組織と党軍関係の現状……………瀧沢 一郎

◎ 共産主義と民族問題……………村井 友秀

◎ ソ連のアフガニスタンからの撤退……………森永 和彦

第二部 論 説

◎ 戦争防止の一考察……………山田 康夫

◎ 武力紛争の開始・終了と国際法……………高井 晉

◎ 米国の外交政策と議会拒否権……………浜谷 英博

◎ 非常事態(état d'urgence)をめぐるフランス憲法院の対応
—一九八五年一月二五日憲法院判決を素材として—……………富井 幸雄

◎ 空襲軍律の展開……………北 博昭

◎ 明治憲法復元論批判……………安田 寛

『防衛法研究』第13号(1989年)「特集 国際テロリズム」

巻頭言 大平先生の訃に接して……………安田 寛

第一部(特集)国際テロリズム

◎ 国際テロリズムと法の支配……………小林 宏晨

◎ 国際人道法の発展を阻む国際テロリズム……………足立 純夫

◎ テロリズムと解放運動(戦争)……………山田 康夫

◎ 国際テロリズムへの対応
逃亡犯罪人引渡しの困難性と自救的手段の行使による対応……………大場 昭

◎ 爆発物テロに関する史的一考察
—外国を主とし、かつ対処を念頭に置き乍ら—……………狩野 信行

◎ アメリカのテロ対策とその政策決定をめぐる諸問題……………宮脇 岑生

◎ 米国によるリビア爆撃の再検討……………永澤 勲雄

第二部 論 説

◎ 非常事態と国民の抵抗権……………松浦 一夫

◎ 「一方的軍縮」の陥穽 —ゴルバチョフの兵力削減の狙い—……………吉原 恒雄

◎ 憲法改正への王道 —安田教授の批判に答える—……………小森 義峯

◎ 日本の防衛問題に関する国際化の影響
—シンガポール国立大学シンポジウムにおける報告書—……………西 修

第三部 追悼文

◎ 男気の人 —故・大平善梧会長—……………高井 晉

◎ 麻生・加藤・林先生を悼む……………安田 寛

『防衛法研究』第14号(1990年)「特集 自衛隊をめぐる諸問題」

巻頭言……………安田 寛

特集 自衛隊をめぐる諸問題

◎ 憲法と集団的自衛権……………小田村四郎

◎ 国の防衛と情報公開……………安田 寛

◎ 軍人(自衛官)の表現の自由をめぐる裁判例の日独比較考察
—反職自衛官懲戒免職処分取消請求事件第一審判決に寄せて—……………松浦 一夫

◎ 海難審判法とその運用について —自衛艦への適用に関する一考察—……………高柳 広章

◎ 装備品等の調達契約をめぐる法的問題……………齋藤 清史

◎ 自衛官の給与・年金制度の課題……………富田 定幸

◎ ベトナム戦争と政治問題の原則……………横手 逸男

△資料 中華人民共和国香港特別行政区基本法(仮訳)……………吉川 智

『防衛法研究』第15号(1991年)「特集 国際平和協力の法的研究」

巻頭言 避難民の輸送をめぐる……………安田 寛

特集 国際平和協力の法的研究

I 緒 論

◎ 国際平和協力の法的研究の今日的意義……………吉原 恒雄

II 憲法上の問題

◎ 湾岸戦争と憲法問題……………西 修

◎ 国際平和協力と英米法の法理……………大場 昭

◎ 新国際秩序と日本の国際的貢献
—憲法と国際平和協力隊構想—……………浜谷 英博

III 国際法上の問題

◎ 国際平和維持活動と待機軍の制度……………高井 晉

◎ 国際人道法と海戦法規……………足立 純夫

IV 防衛法上の問題

◎ 国際平和及び安全保障協力と防衛法に関する研究……………三木 秀雄

◎ 国際平和協力と有事法制……………山田 康夫

V 外国の事例

◎ 国連平和維持活動(PKO)とドイツ基本法……………小林 宏晨

◎ オーストリアにおける国際平和協力のための法制度の整備……………松浦 一夫

△資料 中東湾岸危機・国連平和協法案関係資料……………編 集 部

『防衛法研究』第16号(1992年)「特集 PKO法案とその諸問題」

巻頭言 田上先生を悼む……………安田 寛

特集 PKO法案とその諸問題

◎ 国連平和維持活動協力法案批判
—国際秩序確立への積極的貢献の立場から—……………吉原 恒雄

◎ PKO法案をめぐる問題点……………西 修

◎ PKO協法案の問題点と日本型国連待機軍構想……………浜谷 英博

◎ 憲法と集団的自衛権……………安田 寛

◎ 国際連合憲章と安全保障—個別・集団安全保障から平和維持活動へ—……………山口 開治

◎ 国際平和維持活動(PKO)の一考察……………山田 康夫

◎ 国連待機軍の構想とカナダ国連待機軍……………高井 晉

◎ ドイツ連邦軍のNATO域外派兵をめぐる改憲論議の現況……………松浦 一夫

△資料 PKO法案関係資料 編集部

『防衛法研究』第17号(1993年)「特集 崩壊後の共産圏」

- 巻頭言 国連平和維持活動と武器の使用 安田 寛
- 第一部 (特集) 崩壊後の共産圏
 - ◎ クレムリンの影響力の退潮 森永 和彦
 - ◎ 「鄧小平の軍事改革」の実績と評価
-兵器保有数の推移・国防費の推移からの分析- 平松 茂雄
 - ◎ 戦乱の旧ユーゴスラビアと国連のPKO 丸山 浩行
- 第二部 論説
 - ◎ 行政と国の防衛 安田 寛
 - ◎ アメリカ立憲主義と戦争権限 富井 幸雄
 - ◎ ドイツ連邦NATO域外活動の開始と改憲への政治動向 松浦 一夫
 - ◎ 国連平和維持活動における後方支援問題
-UNTACの医療支援を考察する- 佐藤 克枝
 - ◎ 現代憲法国家をめぐる諸問題 -憲法改正資料として- 小林 宏晨
 - ◎ 日本国憲法の起源 -岡野進を中心として- 嶋村 藤吉
- △資料 PKO法案関係資料 編集部

『防衛法研究』第18号(1994年)「特集 TMD(戦域弾道ミサイル防衛)」

- 巻頭言 戦域ミサイル防衛について 安田 寛
- 第一部 (特集) TMD(戦域弾道ミサイル防衛)
 - ◎ 戦域弾道ミサイル防衛(TMD)のシステム 山下 正光
 - ◎ 日本のTMDが抱える法的問題 高井 晋
 - ◎ TMDとABM条約 -戦略論の立場から- 岩田修一郎
- 第二部 論説
 - ◎ 戦争の確定力 安田 寛
 - ◎ 日米安保条約のアジア・太平洋安保体制の基軸への発展のための法的試論
-NATO戦略の変質に対応するドイツ政府の憲法政策との比較において- 松浦 一夫
 - ◎ 制定法解釈の理論から見た自衛隊法九九条の解釈
-湾岸への掃海艇派遣をめぐって- 富井 幸雄
 - ◎ 日本国憲法の起源 -岡野進から野坂参三への回帰よりの考察- 嶋村 藤吉
 - ◎ [研究ノート] 国際衛星監視機構について 橋本 靖明
- △資料 安全保障関係資料 編集部

『防衛法研究』第19号(1995年)「特集 危機管理と法体制」

- 巻頭言 読売憲法改正試案 安田 寛
- 第一部 (特集) 危機管理と法体制
 - ◎ 災害緊急管理法制確率への提言 -阪神淡路大震災から得た教訓- 眞邊 正行
 - ◎ 危機管理をめぐる諸問題 -大災害対処における医療支援を考える- 佐藤 克枝
 - ◎ 連邦緊急事態管理庁(FEMA)の教訓 -米国の危機管理体制の現況- 西脇 文昭
- 第二部 論説
 - ◎ 戦争権限法に関連した新先例と新たな修正私案 浜谷 英博

- ◎ ドイツ連邦憲法裁判所「連邦軍NATO域外派兵」
合憲判決(一九九四年七月一二日)について 松浦 一夫
- ◎ 日本国憲法オカノススム起源論 -三段階革命論からの検証- 嶋村 藤吉
- △資料 安全保障関係資料 編集部

『防衛法研究』第20号(1996年)「特集 日米安全保障条約の新展開」

- ごあいさつ 西 修
- (特集) 日米安全保障条約の新展開
 - ◎ 日米安保体制の新時代
-ACSAの締結及びガイドラインの見直し論議を契機として- 浜谷 英博
 - ◎ 日米安保条約再定義と集団的自衛権の行使 吉原 恒雄
 - ◎ 日米安保の再定義 -新たなドクトリンを求めて- 加藤 朗
 - ◎ 個人としての武器使用と職務行為 -国連平和協力法に関連して- 小針 司
 - ◎ 海洋法条約締結に伴う領海法の改正と国の安全保障 安保 公人
 - ◎ 日本国憲法オカノススム起源論
-ジョン・K・エマーソンの報告からの検証- 嶋村 藤吉
- △資料 安全保障関係年表 眞邊 正行、編集部

『防衛法研究』第21号(1997年)「特集 日米防衛協力の法」

- (特集) 日米防衛協力と法
 - ◎ 警察作用をめぐる法律問題 安田 寛
 - ◎ 国防の法的な能力又は責任と日本国憲法9条 青山 武憲
 - ◎ 日米防衛協力の進展と集団的自衛権論議 櫻井 敏雄
 - ◎ 駐留軍用地特別措置法と国際法 三浦 勉
 - ◎ 後方支援における警備・防備の諸問題 樋口 恒晴
 - ◎ 日米安保体制の歴史と米国の対日戦略 新治 毅
 - ◎ 第二次大戦後における「上官命令の抗弁」をめぐる議論の展開 喜多 義人
- △資料 安全保障関係年表 眞邊 正行、編集部

『防衛法研究』第22号(1998年)「特集 日米防衛協力のための指針と周辺事態法案」

- (特集) 日米防衛協力のための指針と周辺事態法案
 - ◎ 二つのガイドライン -日米防衛協力の過去と今後- 新治 毅
 - ◎ 「日米防衛協力のための指針(新ガイドライン)」
および「周辺事態法案」の概要と今後の課題 西 修
 - ◎ 「周辺事態」の定義について
-日米安保条約の「極東」概念との関係に関する一試論- 松浦 一夫
 - ◎ 新ガイドラインおよび関連3法案におけるACSA関連の諸問題
-周辺事態措置法案およびACSA改正案を中心として- 浜谷 英博
 - ◎ 国連決議に基づく禁輸執行
-船舶検査活動に関する国際法と国家実行- 安保 公人
 - ◎ 日米防衛協力のための指針と船舶の検査 真山 全
 - ◎ 邦人救出(非戦闘員を退避させるための活動)について 松浦 一夫
 - ◎ 日米防衛協力のための指針と機雷の除去 真山 全

- ◎ 日米防衛協力の指針(新ガイドライン)と自治体
—地方分権をふまえて—……………富井 幸雄
- ◎ アメリカの海外における軍事力行使を巡る諸問題
—介入の原則から国家戦略まで—……………宮脇 寿生
- ◎ 日本国憲法オカノススム起源論 —比較憲法学的考察からの検証— ……………嶋村 藤吉
- △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第23号(1999年)「防衛法制をめぐる当面の諸問題」

- (特集) 防衛法制をめぐる当面の諸問題
- ◎ 国家承認と防衛戦略の交錯 —バルト三国の国境線をめぐって— ……………杉山 茂雄
 - ◎ 北朝鮮のミサイル脅威と戦略弾道ミサイル防衛……………金 斗煥
 - ◎ アルバニア危機の教訓 —多元的制度アプローチの有効性— ……………栗栖 薫子
 - ◎ 国連の平和維持活動をめぐる日本社会党の対応
—「避戦論」と「一つの国連」のはざままで—……………水野 均
 - ◎ 「ポスト冷戦」後の軍事的非国家行為主体 (Non-State Actor)
—邦人救出作戦の手段になりうるか—……………松村 昌廣
 - ◎ 情報分野における危機管理と国際法による規制可能性に関する一試論
—マス・メディア活動に対する即時的かつ
—時的規制の可能性を中心として—……………斎藤 洋
 - ◎ アメリカの日本占領と日米安保体制の起源……………新治 毅
 - ◎ 有事法制における国会関与の必要性と限界……………浜谷 英博
 - ◎ 自衛隊法84条の意義に関する若干の考察……………山下 愛仁
 - ◎ 提言：領域警備態勢は武器使用の国際標準化で対応せよ……………宝珠山 昇
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第24号(2000年)「特集 諸外国の緊急事態法制」

- 第1部 (特集) 諸外国の緊急事態法制
- ◎ 序論 —立憲主義と国家緊急事態— ……………松浦 一夫
 - ◎ 米国の緊急事態法制
—わが国有事法制研究におけるいわゆる第3分類の分野を中心として— ……浜谷 英博
 - ◎ ドイツの緊急事態法制
—緊急事態憲法、有事における民間輸送の安全と
—軍事輸送の確保に関する法制—……………松浦 一夫
 - ◎ フランスの緊急事態法制 —21世紀国防体制への移行のなかで— ……………平野 新介
 - ◎ わが国の旧憲法下における緊急事態法制……………米丸 嘉郎
- 第2部 論 説
- ◎ 軍事法廷について……………安田 寛
 - ◎ 補償問題の解決におけるドイツの日本……………小林 宏晨
 - ◎ 自衛権の変質論……………三浦 勉
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第25号(2001年)「冷戦後の民間防衛法制」

- 第1部 冷戦後の民間防衛法制 —仏・独の場合—

- ◎ フランスの民間防衛・安全保障法制 —住民保護体制を中心に— ……………渡邊 啓貴
 - ◎ ドイツの民間防衛法制 —ドイツ防衛法制研究(Ⅱ)— ……………松浦 一夫
- 第2部 論 説
- ◎ 国際法におけるサイバー戦の位置づけ……………岩本 誠吾
 - ◎ コソボ紛争における法と政治……………小林 宏晨
 - ◎ 国際災害救援法へのアプローチ……………三浦 勉
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第26号(2002年)「特集 9.11米国テロ事件と防衛法」

- (特集) 9.11米国テロ事件と防衛法
- ◎ テロ対策関連法および有事関連法の概説と問題点……………西 修
 - ◎ 9.11米中核同時多発テロ事件におけるアメリカの対応
—合衆国軍隊の使用を巡る戦争権限と本土の新安全保障体制—……………宮脇 寿生
 - ◎ 9.11米国テロ事件以後のドイツ政府の対応と政策課題……………松浦 一夫
 - ◎ 英国のテロ対策法……………清水 隆雄
 - ◎ 義務兵役制の憲法適合性
—2002年2月付連邦憲法裁判所第二法廷決議の検討—……………小林 宏晨
 - ◎ 「領域警備」に関する若干の考察
—防衛作用と警察作用の区別に関する一試論—……………山下 愛仁
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第27号(2003年)「テロリズムと宗教的自由」

- 特別寄稿
- ◎ 9月11日以後のヨーロッパの宗教と国の安全
：展望は暗いのか?……………シルヴィオ・フェラーリ(訳：安田寛・松浦一夫)
 - ◎ Religion and Security in Europe after September 11
:A Gloomy Perspective ……………Silvio Ferrari
- 論 説
- ◎ いわゆる軍用飛行場騒音公害訴訟の概要と問題……………青山 武憲
 - ◎ 対イラク戦争(2003年)をめぐる法と政治……………小林 宏晨
 - ◎ 「同盟」への覚書……………杉山 茂雄
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第28号(2004年)「ドイツ連邦軍域外派遣の法と政治」

- 論 説
- ◎ ドイツ連邦軍域外派遣の法と政治(Ⅰ)—「NATO域外派兵」合憲判決
(1994年7月12日)以後の実行と軍域外派遣法— ……………松浦 一夫
 - ◎ イラク戦争(2003)の合法性と違法性……………小林 宏晨
 - ◎ サイバー戦争・サイバー攻撃に対応するための国内法整備
—特に、機密情報保護のための人的セキュリティ制度の法整備について—……………永野 秀雄
 - △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第29号(2005年)「安田 寛先生追悼論集」

論 説

- ◎ 安田寛・名誉理事長を追悼して……………西 修
 - ◎ 平和と自由の原点を求めて
— (防衛法学会名誉理事長) 安田寛先生に戦中・占領・戦後を聴く — ……嶋村 藤吉
 - ◎ 日本国憲法における「行政権」の概念と国の防衛
— 論争の更なる展開に向けて — ……山中倫太郎
 - ◎ 国民保護法の理念と実践 — 地方自治体の取組みと今後の課題 — ……浜谷 英博
 - ◎ 自衛官と政治的言論の自由 — 文民統制と中谷事件 — ……富井 幸雄
 - ◎ 改正自衛隊法82条の2に関する一考察
— 弾道ミサイル防衛法制の法的問題 — ……小針 司
 - ◎ 政党改憲案および民間改憲私案等について……………池田 実
 - ◎ 国家機密情報に関する政府の情報秘匿特権
— 米国における刑事訴訟手続、軍事証拠規制、軍事委員会および、テロに
関与する外国人の強制退去等の出入国管理における機密証拠の非開示手
続とわが国への示唆 — ……永野 秀雄
 - ◎ イラク戦争と先制的自衛の法理 — 国連憲章第51条の解釈の変遷 — ……大場 昭
 - ◎ 対イラク戦争(2003年)の法的問題 — ゴールドスマス卿の法的問題 — ……小林 宏晨
 - ◎ ドイツ連邦軍域外派兵の法と政治(II・完)
— 「NATO域外派兵」合憲判決(1994年7月12日)以後の
実行と軍隊域外派遣法 — ……松浦 一夫
- △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第30号(2006年)「新たな『軍隊』像と防衛法の課題」

論 説

- ◎ 日本の対テロ体制の現状と問題点 — 治安と安全保障の狭間で — ……山崎 元泰
 - ◎ 自民党新憲法草案について — 特に第9条関連を中心に — ……田村 重信
 - ◎ 「軍事裁判所」と法曹の関与……………堤 淳一
 - ◎ 防衛法制論のあり方に関する若干の考察 — 一つの問題提起として — ……山下 愛仁
 - ◎ 米軍トランスフォーメーションの意味するものは何か
— 「世界の中の日米同盟」への必要な防衛法制整備を — ……新治 毅
 - ◎ 航空テロ攻撃への武力対処と「人間の尊厳」
— ドイツ航空安全法武力行使規定違憲判決(2006年2月15日)
連邦憲法裁判所第一法廷判決)を中心に — ……松浦 一夫
 - ◎ アメリカ合衆国における「戦時の」憲法と適正手続の保証
— 「対テロ戦争」における軍事拘束に対する連邦最高裁の対応(一) — ……山中倫太郎
- △資料 安全保障関係年表……………真邊 正行、編集部

『防衛法研究』第31号(2007年)「特集 国際安全保障の法的諸問題」

特集 国際安全保障の法的諸問題

- ◎ 国際平和協力活動と国家の責任……………高井 晋
- ◎ 海戦における機能的目標選定の確保をめぐる目標識別上の諸問題……………浦口 薫
- ◎ 我が国の犯罪論から見たICC規程における抗弁……………田中 誠

論 説

- ◎ 事態対処法の一考察……………小針 司
 - ◎ 憲法論議の動向とその背景……………長須賀明彦、橋本靖明
 - ◎ 日本のインテリジェンス機能強化を巡る政策決定過程……………丹羽 文生
 - ◎ 武器を携帯する権利と民兵[米国]……………青山 武憲
 - ◎ アメリカ合衆国における「戦時の」憲法と適正手続の保障(二)……………山中倫太郎
- △資料 安全保障関係年表……………真邊正行、編集部

『防衛法研究』第32号(2008年)「米国のインテリジェンス機関」

- ◎ いわゆる4類型に関する若干の憲法的考察
— 政府解釈の再検証を中心として — ……西 修
 - ◎ 米国のインテリジェンス機関 — 今後のわが国の制度設計の参考として — ……永野 秀雄
 - ◎ 国際テロリズムと国家の責任……………高井 晋
 - ◎ 防衛法制度における「奇襲対処の問題」の現状と今後の検討の方向性……………佐藤 幸輝
 - ◎ 冷戦後における日本の安全保障政策決定過程
— 「日米安保共同宣言」に至る経緯と
自民党安全保障調査会の役割を中心に — ……丹羽 文生
- △付録 「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」報告書
△付録 「防衛省改革会議」報告書
△資料 安全保障関係年表……………真邊正行、編集部

『防衛法研究』第33号(2009年)「特集 ソマリア沖の海賊と対処活動」

特集 ソマリア沖の海賊と対処活動

- ◎ ソマリアの海賊 — その実態と国連、各国及び国際機関等の対応 — ……上野 英詞
 - ◎ ソマリア沖の現代海賊問題の法的側面……………高井 晋
 - ◎ ソマリア沖海賊対処活動とその安全保障上の意味合い……………森本 敏
- 論 説
- ◎ 日本の「宇宙基本法」についての検討 — 国際法戦略論の視点から — ……米田富太郎
 - ◎ 核テロ防止条約の発効と日本の取組
— 日本の原子力規制法体系に与えた影響と今後の課題を中心として — ……金子 智雄
 - ◎ [研究ノート] 南シナ海における米海軍調査船に対する妨害事件
— 中国が行った妨害行為の合法性を中心に — ……下山 憲二
 - ◎ [研究ノート] 自衛隊の国際平和協力活動時における法的制約……………千川 一司
 - ◎ [判例紹介] イラク派遣差止等訴訟およびイラク名古屋高等裁判所判決……………上中 孝文
- △法令解説 防衛二法改正の概要……………編 集 部
△資料 安全保障関係法令一覧表……………真邊 正行

『防衛法研究』第34号(2010年)「特集 日米安保体制の五十年」

特集 日米安保体制の五十年

- ◎ 防衛法学会・日本防衛学会共催による研究大会・公開シンポジウム
 - ◎ 日米安全保障条約体制の法的再吟味……………高井 晋
 - ◎ 日米安保体制の展望……………長島 昭久、林 芳正、西 修、志方 俊之
- 特集2 各国のテロリズム対策

- ◎ 日本の対テロ政策－その現状と今後の課題－……………河本 志朗
- ◎ カナダの対テロ対策－反テロ法を中心として－……………富井 幸雄
- ◎ 米国によるテロとの戦い－脅威認識の形成－……………宮坂 直史
- 特集3 各国の国防組織
- ◎ 米国の国防組織と文民統制－国防総省における政治任命者による統制と、
軍人の表現の自由に対する軍事司法統一法典等による統制－……………永野 秀雄
- ◎ ドイツ連邦防衛省中央機構における政軍関係の現状
－「政治主導」による連邦軍改革の組織的前提－……………松浦 一夫
- ◎ オーストラリアの国防組織改革：1996-2010年……………福嶋 輝彦
- ◎ アダム・ロバーツの理解する冷戦後の世界構造……………小林 宏晨
- ◎ [研究ノート] 海賊行為における「私的目的」に関する一考察
－南極海における調査捕鯨船に対する妨害事件を素材に－……………下山 憲二
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表……………真邊正行・編集部

『防衛法研究』第35号(2011年)「安全保障法制の歴史的展開と現代的課題」

- ◎ 戦争犯罪概念の歴史的変容……………田中 誠
- ◎ 核セキュリティの史的展開
－規範形成に向けた国際社会の取組みの現状と課題－……………永吉 昭一
- ◎ 海洋の安全保障と国益保全－国際法を交えて考える問題点と対策－……………安保 公人
- ◎ 国家主権と憲法……………浜谷 英博
- ◎ ドイツにおける義務兵役制停止の背景－その法的側面と政策的側面－……………松浦 一夫
- ◎ 国際緊急援助活動の現状と課題……………佐藤 庫八
- ◎ 災害派遣活動に係わる行政レベルの課題……………佐藤喜久二
- ◎ 英国によるPFI(民間資金等活用事業)の国防分野での活用
－日本への適用可能性に関する考察－……………山崎 元泰
- ◎ 紛争後の平和構築と民軍協力
－新たな地域復興支援チーム(PRT)の模索－……………與儀 孝
- ◎ 台湾海峡の安全保障と日米中関係－国民党政権の再登板を見据えて－……………呉 春宜
- ◎ 終わろうとしない歴史－ロバート・ケイガンの目指す世界秩序－……………小林 宏晨
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表……………真邊正行・編集部

『防衛法研究』第36号(2012年)「防衛法における理論と実践」

- ◎ 「ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム」素描……………西 修
- ◎ 東日本大震災における災害対処の教訓と課題……………山本 忠雄
- ◎ 中央防災会議における緊急応急対策の検討状況と今後の課題……………佐藤 庫八
- ◎ 核セキュリティ強化と科学技術
－国際的な核鑑識体制の構築のあり方－……………永吉 昭一
- ◎ 米国の対日拡大抑止の信頼性について……………矢野 義昭
- ◎ 第一次世界大戦における日本軍による捕虜の取扱い
－坂東捕虜収容所の事例を中心として－……………御簾納直樹
- ◎ 防衛法制実務に係る政策論の一考察
－捕虜取扱いに関わる組織の事例から－……………林 浩一
- ◎ ドイツ防衛憲法における命令司令権(Befehls-und Kommandogewalt)の概念と論理

- －防衛憲法政策も視野に入れて－……………山中倫太郎
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表……………真邊正行・編集部

『防衛法研究』第37号(2013年)「国際法における領域秩序の現代的課題」

- ◎ 産経新聞「国民の憲法」要綱提言の背景……………田久保忠衛
- ◎ 尖閣諸島と日本の領有権－国際法的及び歴史的考察－……………尾崎 重義
- ◎ いわゆる尖閣問題をめぐる法的課題……………潮 匠人
- ◎ 韓国の竹島領有論……………高井 晉
- ◎ 国際海峡の法的地位に関する一考察－ホルムズ海峡の検討を中心に－……………下山 憲二
- ◎ 日本の大陸棚延長申請－他国からの意見表明とCLCS勧告－……………井内由美子
- ◎ マヴィ・マルマラ号事件の法的考察……………小林 宏晨
- ◎ 我が国の周辺事態への対処法制の概要……………防衛法学会編集部
- ◎ シリア内戦に内在するグローバルジハードの検証……………和田 大樹
- ◎ ドイツ防衛憲法における軍人の基本権保障総論
－ドイツ基本法における政策形成と解釈論の展開……………山中倫太郎
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表……………真邊正行・編集部

『防衛法研究』第38号(2014年)「特集 集団的自衛権と日本の安全保障」

- 平成26年度春季研究大会・公開シンポジウム
- ◎ 集団的自衛権と日本の安全保障 基調講演・パネルディスカッション
……………森本 敏、西 修、西元 徹也、田村 重信、高井 晉
- ◎ 立憲主義と安全保障法制
－ドイツ連邦憲法裁判所による「解釈改憲」と防衛憲法の判例法的形成－……………松浦 一夫
- ◎ 敵基地攻撃機能と抑止力……………吉原 恒雄
- ◎ わが国における軍事裁判のあり方－近年の憲法改正論議を検討素材として－……………福富 俊幸
- ◎ (GHQ民政局担当官であった安田寛・初代防衛法学会名誉理事長に捧ぐ)
日本国憲法オカノススム起源論－平和主義を中心として……………嶋村 藤吉
- ◎ テロ対策に関わる連邦空軍の国内出動の憲法適合性……………小林 宏晨
- ◎ 国際司法裁判所の機能と判決－「一方的請求」の意義とその効果－……………福山 崇
- ◎ 積極的平和主義の実現に向けた日本の「全政府アプローチ」
：東ティモールの事例から……………川口 智恵
- ◎ [研究ノート] 自由で民主的な立憲国家の軍隊における
公民および国際法の授業の一つのあり方
－ドイツ軍人法の授業規定における意義および基本枠組み……………山中倫太郎
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表……………真邊正行・編集部

『防衛法研究』創設40周年記念 臨時増刊号(2015年)「特集 新たな安全保障法制の整備の現状と課題」

- ◎ ごあいさつ……………高井 晉
- ◎ 安全保障法制と集団的自衛権問題……………森本 敏
- ◎ 今後の安保法制はどうなるか?……………田村 重信
- ◎ いわゆるグレーゾーン事態の必要かつ有効な法整備
－自衛措置と主権侵害排除の措置……………安保 公人
- ◎ 「領域警備」概念の意義と課題……………田中 誠

- ◎ 自衛権と専守防衛—サイバー攻撃の視点から— ……安保 克也
- ◎ 必要最低限度の集団的自衛権とは何か ……里永尚太郎
- ◎ 憲法の変遷論の対象としての集団的自衛権 ……小林 宏晨
- △資料 「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」報告書

『防衛法研究』第39号(2015年)「特集 国際テロの脅威と日本の安全保障」

- ◎ 『防衛法研究』第39号の刊行にあたり ……西 修
- 特集「国際テロの脅威と日本の安全保障」
- ◎ ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動の法解釈 ……児島 健介
- ◎ 国際テロに対する国際社会の取組と我が国の対応—法制上の観点から— ……佐藤 庫八
- ◎ イスラム国の台頭によるアルカイダの衰退の検証
—国際安全保障における脅威の観点から— ……和田 大樹
- 論 説
- ◎ 国際平和協力活動に従事する自衛隊員の損害賠償責任 ……高井 晋
- 研究ノート
- ◎ 沿岸国による海洋構造物に対する規制の可能性について ……下山 憲二
- ◎ アメリカ外交の失敗とISの台頭 ……小山内高行
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表 ……眞邊 正行

『防衛法研究』第40号(2016年)「特集 国家緊急事態と憲法改正の方向性」

- 特集1 国家緊急事態と憲法改正の方向性
- ◎ 今、何が問われるべきか ……西 修
- ◎ 平和安全法制後の憲法改正と憲法第9条と緊急事態・危機管理 ……田村 重信
- ◎ サイバー対抗措置の可能性と限界 ……福富 俊幸
- ◎ 「国家緊急事態法論」への地理学的アプローチ
—小笠原諸島への「防衛に関する地域条項」の導入を巡って— ……福本 慧
- ◎ 国家非常事態における破壊活動防止法による対処とその憲法上の限界 ……今井 慶宗
- ◎ 日米安全保障条約の改正案の提言について ……佐藤 庫八
- 特集2 海洋安全保障の法的諸問題
- ◎ 同盟国の他国との領土紛争に際して米国はいかに対応してきたか
—その対応事例からみた根拠法制と行動の共通的特徴— ……矢野 義昭
- ◎ 領域警備行動によるグレーゾーン事態への切れ目のない対応の可能性
—海洋安全保障に関する想定事案の個別分析を通して— ……宇佐美 淳
- 論 説
- ◎ 非常事態における基本的人権と日本国憲法
—基本的人権の停止の否定という基本的視点— ……山中倫太郎
- ◎ クリミアを巡るロシアの行動は国際法違反か? ……小林 宏晨
- ◎ 国際深海底における海洋調査活動をめぐる課題の整理
—探査・留保鉱区内での調査実施及び試料の扱いを中心に— ……下山 憲二
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表 ……眞邊 正行

『防衛法研究』第41号(2017年)「特集 新たな国際平和支援のあり方」

特集 新たな国際平和支援のあり方

- ◎ 冷戦後の国際平和協力法制—歴史・現状・課題— ……田村 重信
- ◎ 国際平和活動の潮流と日本の国際平和協力法制
—平和安全法制に至る議論を踏まえて— ……山本 慎一
- ◎ 多国籍間協力と民軍連携 ……佐藤 克枝
- ◎ 治安部門改革における「ハイブリッドな平和」への課題
—「ローカル」と外部アクターの役割— ……田中(坂部)有佳子
- 論 説
- ◎ グローバル化時代における国際法による安全保障の現状と課題 ……田中 誠
- ◎ 集団的自衛権再考 ……能勢 伸之
- ◎ 自衛権を立法化することの意味とは—国会の関与の意味するもの— ……上原 広
- ◎ 憲法9条と安全保障—憲法改正の方向性について— ……安保 克也
- ◎ イスラーム法から見るイスラーム過激派と日本の対策 ……野村 明史
- 研究ノート
- ◎ "軍法会議"の今昔—その設立を語る前に— ……佐々木憲治
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表 ……眞邊 正行

『防衛法研究』第42号(2018年)「特集 防衛装備・技術の移転及び研究開発」

- 特集 防衛装備・技術の移転及び研究開発
- ◎ 日本の安全保障政策と防衛装備移転 ……佐藤 丙午
- ◎ 憲法と武器輸出三原則及び防衛装備移転三原則の関係 ……田村 重信
- ◎ 我が国における防衛産業の特性と防衛装備庁の役割 ……吉田 孝弘
- 論 説
- ◎ 憲法改正の課題—9条について— ……安保 克也
- ◎ 集団防動員体制の中日比較
—国内における法的環境整備の観点から— ……矢野 義昭
- ◎ 自大陸棚での海洋調査活動に関する一考察
—沿岸国の同意なく実施された海洋調査への対応と調査結果の取り扱い— ……下山 憲二
- 書 評
- ◎ 萬歳寛之著『国際違法行為責任の研究—国家責任論の基本問題』
(成文堂、2015年9月刊)を読んで ……島田 征夫
- △資料 安全保障関係法令制定改廃一覧表 ……眞邊 正行

『防衛法研究』第43号(2019年)「特集 憲法改正—第9条と緊急事態条項—」

- 特集1 旧憲法下における軍法制
- ◎ 大正末期の陸軍の《統帥権研究》管見 ……荒邦 啓介
- ◎ 防空監視隊員に関する法制度の研究 ……今井 慶宗
- 特集2 憲法改正—第9条と緊急事態条項—
- ◎ 《基調講演》 憲法改正論議の課題 ……西 修
- ◎ 行政機関と個人情報—自衛隊情報保全隊事件を題材に— ……安保 克也
- ◎ 日本国憲法の欠陥(第9条、緊急事態)
—冷戦後の自民党・憲法改正論議の変遷— ……田村 重信
- ◎ 日本国憲法と国家緊急事態
—参議院緊急集会規定(憲法第54条2項・3項)は「緊急事態条項」か— ……松浦 一夫

論 説

- ◎ 現代国際社会が許容する武力行使……………安保 公人
 - ◎ 内閣憲法調査会において非常事態条項・緊急事態条項はどのように考えられたか
— 争点構造の分析を踏まえて……………山中倫太郎
- 研究ノート
- ◎ 象徴天皇制の意義—英国君主制との比較から……………嶋村 藤吉

『防衛法研究』第44号(2020年)「特集 我が国の国際平和協力活動の在り方」

- ◎ 巻頭言……………浜谷 英博
- 特集 我が国の国際平和協力活動の在り方
- ◎ 我が国の今後の国際平和協力活動の在り方、方向性について……………佐藤 庫八
 - ◎ 国際平和協力法制の特徴・意義・課題
— 日本の国際平和協力活動の在り方を巡って……………山本 慎一
- 論 説
- ◎ 日本海軍の潜水艦戦における軍事目標……………児島 健介
 - ◎ 陸上自衛隊の国際人道法教育……………藤野 毅
 - ◎ 沿岸国の同意なく実施された海洋の科学的調査への対応
— EEZの場合を中心に……………下山 憲二
 - ◎ 自律型致死性兵器システム(LAWS)とJus Nascendi……………高井 晉
 - ◎ 自衛隊員に対する刑事的統制のあり方に関する序論的考察……………瀧本京太郎
 - ◎ 感染症対策への国家安全保障的視点の導入
— 日本版CDCの創設に関する提言……………山崎 元泰

『防衛法研究』第45号(2021年)「特集 サイバー戦略と法」

- ◎ サイバー戦概論
— サイバー戦が創る戦略環境の変化の視点……………田中 達浩
 - ◎ 国際法から見たサイバー戦と法の欠缺……………田中 誠
 - ◎ 2018年防衛大綱と「相手方によるサイバー空間の利用を妨げる能力」
— 抑止力に与える影響の考察……………川口 貴久
 - ◎ 米国のサイバー戦略と法
— 特に、前方防衛について……………永野 秀雄
- 論 説
- ◎ 海洋安全保障における武器使用の警察作用と防衛作用に関する考察
— 中国海警法の施行と中国海警局による
尖閣諸島周辺海域における領海侵入事案を題材に……………宇佐美 淳
 - ◎ 主権免除を有する船舶によって実施された
海洋の科学的調査への沿岸国の対応……………下山 憲二
 - ◎ 中東における自衛隊による情報収集活動……………児島 健介
 - ◎ 領域警備に関する「宮崎弘毅論文」再考
— 海上警備行動規定の制定経緯とその本質……………佐藤 幸輝
 - ◎ 軍事の国内法適合性確保におけるルール・オブ・エンゲージメント
(Rules of Engagement[ROE])の役割
— 各国の防衛・安全保障関連法の多様性を踏まえて……………山中倫太郎

- ◎ 感染症対策関連法規の国際比較と日本の関連法制の特色
— 権限と強制性を焦点に……………矢野 義昭

『防衛法研究』第46号(2022年)「特集 予測困難な社会に対応する法のあり方」

- ◎ 巻頭言……………佐藤 庫八
- 特集 予測困難な社会に対応する法のあり方
- ◎ 自律型致死兵器システム(LAWS)規制の国際法政策論
— 倫理規範から法規範へ、人道法から軍縮法へ……………岩本 誠吾
 - ◎ 無害通航中の外国政府公船から発進したドローンへの対応とその課題……………下山 憲二
 - ◎ 「武力攻撃事態」認定の解釈方法に関する一試論……………山下 愛仁
 - ◎ 自衛隊の「行動」及び「権限」と法律の関係
— 法律による行政の原理及び文民統制による
ポジ原則の基礎付けの可能性に焦点を当てて……………山中倫太郎
- 研究ノート
- ◎ 防衛医療の重要性と安全保障上の役割……………吉田 孝弘
 - ◎ ロシアによるウクライナ侵略の前奏曲
— 2014年以降のハイブリッド戦の検討……………倉 祥威
- 報 告
- ◎ 自衛隊の行動・運用にかかる検討課題について……………佐藤 庫八

『防衛法研究』第47号(2023年)「特集 いま日本が直面している防衛法の課題」

- ◎ 巻頭言……………松浦 一夫
- 特集 いま日本が直面している防衛法の課題
- ◎ 安全保障をめぐる憲法審査会の動向……………池田 実
 - ◎ 武力攻撃事態等における海上法執行機関の法的地位と課題……………下山 憲二
 - ◎ 自治体からみた重要土地等調査法……………児島 健介
 - ◎ 自衛隊の防衛出動時における戦争犯罪捜査の課題
— ウクライナ侵略戦争の教訓から……………田中 誠
- 研究ノート
- ◎ 「人道回廊」の有用性と限界について
— 人道回廊の法的性格と歴史的経緯から……………横尾 和久
- △資料 我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な財源の確保に関する
特別措置法(令和五年法律第六十九号)令和5年6月23日施行
- △資料 防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する
法律(令和五年法律第五十四号)令和5年10月1日施行予定